

【日本遺産】シリーズ⑦

出雲國たたら風土記

鉄づくり千年が生んだ物語



地域に点在する文化や風習、文化財などを一つの「ストーリー」として文化庁が認定している日本遺産。そんな日本遺産に、たたら製鉄に関するストーリーが「出雲國たたら風土記」鉄づくり千年が生んだ物語」として認定されています。

ここでは、日本遺産の構成地域である安来市・雲南市・奥出雲町が共同して、日本遺産の構成文化財を紹介します。

■民謡安来節（安来市）

安来港は鉄の積出港として栄え、北陸をはじめ各地から訪れる多くの船乗りで賑わいました。その中で、船乗り達が唄う民謡や船歌などの影響を受けて、民謡安来節が誕生しました。歌詞には、鉄を馬や船で運ぶ様子や、鉄鋼会社で鉄が作られる様子など、鉄にまつわる内容が出てきます。

また、大きなザルを持ってコミカルに踊る「どじょうすくい」の動きは、たたら製鉄のために川底の砂鉄を取る動作に由来するという説もあります。安来節演芸館で、安来節の公演や体験をぜひお楽しみください。



▲民謡安来節



▲安来節演芸館

問い合わせ 観光振興課
☎ 23-3110

関連情報はこちら

右下2次元コード：
出雲國たたら風土記
Instagram

左下2次元コード：
鉄の道文化圏ホーム
ページ



＝人権尊重社会の実現をめざして＝

シリーズ
人権を
考える 76

『誰か』のことじゃない
～今もお同和問題で
苦しんでいる人がいます～

あなたにとって「同和問題」とは？ (%)

	H29	R5
基本的人権に関わる問題。市民の一人として、解決に努力すべきだ	36.1	37.6
よく考えていない	19.6	23.8
自分ではどうしようもない問題。成り行きにまかせるより仕方ない	25.2	18.6
自分ではどうしようもない問題。誰か然るべき人が解決してくれる	10.5	5.8
同和地区以外の人には直接関係のない話だ	2.1	4.5
同和問題は解決している	選択肢なし	4.5

(安来市人権に関する市民意識調査)

平成29年と令和5年の市民意識調査によると、「成り行きに任せる」「誰かが解決してくれる」(人まかせ)「自分には関係ない」(他人事)

「よく考えていない」(無関心)といった考え方や、「同和問題は解決済み」という誤った認識を持つ人が依然として多く見られました。

「そっとしておけば差別はなくなる」「寝た子を起こすな」といった考えは、差別を受けている人が我慢し続けることを強いるものです。また、同和問題をよく知らない人が、誤った知識や偏見、インターネット上の差別的な書き込みに影響され、意図せず差別の加害者になる可能性もあります。

同和問題は、普段は見えにくい人権課題ですが、結婚や就職など人生の重要な場面で突然表面化することがあります。「当事者だけの問題」と無関心にならず、誰もが直面する可能性のある課題として、同和問題の歴史や現状を積極的に学ぶ姿勢が大切です。

問い合わせ 人権施策推進課 ☎ 23-3054

◆11月の「特設人権相談所」

開設日時 11月18日(火)9時30分～12時

場所 安来中央交流センター 第3会議室